

令和 6 年度全国安全週間について

(第 97 回全国安全週間スローガン)

危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全

(期間) 本期間 7 月 1 日～7 日 準備期間 6 月 1 日～30 日

2024/6/17

樹脂表面処理課安全衛生委員 松下

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念のもと一度も中断することなく続けられ、本年で 97 回目を迎えます。労働災害は長期的には減少してきましたが、近年では特に、転倒や腰痛といった作業者の作業行動に起因する死傷災害は増加し続けており、令和 5 年の広島県内の事故の型別労働災害発生状況は転倒災害(26.1%)と動作の反動・無理な動作(15.2%)で全体の 41.3%を占めています。柿原工業で 63 期以降に発生した労災 5 件を 21 種の「事故の型」に分類すると、「転倒」3 件、「はさまれ・巻き込まれ」1 件、「墜落・転落」1 件と転倒が 60%で、転倒で休業 4 日以上の災害も発生しています。転倒災害に着目して、以下に他社で起こった事例を紹介します。

< 転倒の他社事例 >

・台車に足を乗せたところ台車が動き出し、バランスを崩し、軸足の足首を骨折した

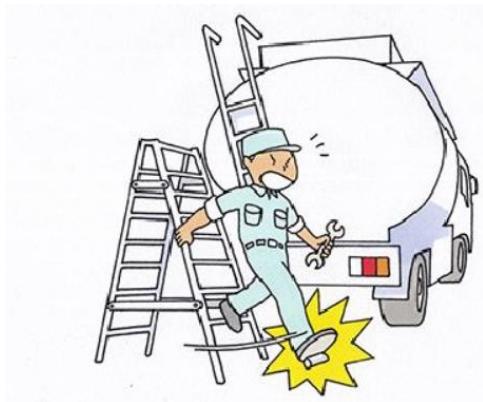


発生要因(物)
作業方法の欠陥
発生要因(人)
職場的原因
発生要因(管理)
その他の不安全な行為

対策

- 1, ハンドルつきの台車に変更する。
- 2、手が使えない場合は、台車に足を乗せずつま先や側面で移動させるようにする。
- 3、運搬に係る、作業手順書を作成する

・脚立から降りる際、片足を着地したところ、地面に置いてあった別の部品の上に足が乗り、足を滑らせて捻挫した



発生要因(物)
物の置き方、作業場所の欠陥
発生要因(人)
職場的原因
発生要因(管理)
不安全な放置

対策

- 1、部品や工具等は、作業の妨げにならないよう保管場所にまとめておくことを徹底させる。
- 2、脚立を使用する際は、慎重に昇降することを、労働者に徹底する。

・ハンドリフトを飛び越えようとしたところ、つまずいて足甲を骨折した



発生要因(物)
物の置き方、作業場所の欠陥
発生要因(人)
職場的原因
発生要因(管理)
その他の不安全な行為

対策

- 1、人力運搬機等の転倒の要因となる物が、歩行スペース（作業動線上）に置かれていることがないように、工場内の整理整頓を徹底する。

これらの事例のように、転倒災害はだれにでも起こりうる身近な災害です。普段より5S やリスクアセスメント活動により改善はされていると思いますが、この際にもう一度職場内で、転倒が起きやすいところ、作業がないか確認し、問題があれば上長や安全衛生委員に打ち上げて安全週間の準備期間である 6 月中にリスクを減らす対策をして、来月の本期間に備えていきましょう。

柿原工業では、以前より無災害目標 700 日以上を目指していますが、中々達成出来ていない状況が続いています。その要因として、月 1 回の安全衛生委員会は以前より実施していましたが、安全衛生活動にメリハリがなく都度都度感があり、職場に安全意識が浸透しづらいという問題があげられました。そこで今期から本格的に安全衛生防火防災年間計画及び実績書（通称安衛防計画）に基づいて、職場パトロール、リスクアセスメント、今回の安全週間のようなイベント、教育訓練などを全社活動として計画的に実施し、目標の達成を目指しています。